

以下は四川省医学会事務局のホームページ掲載記事を日本語に翻訳したものです。

2008年6月3日午後成都太乙大酒店にてSSC-290ハンドキャリータイプ超音波診断装置の寄贈式が厳かに開催され、四川省人民政府、四川省衛生庁、四川省医学会、上海アロカ医用儀器有限公司、アロカ国際貿易（上海）有限公司の各代表者や責任者がこの寄贈式に出席し、健康報や四川テレビ局等新聞マスメディアの記者が現場で取材を行った。

5月12日四川大地震は同周辺に重大な損失をもたらし、災害地域の人々の身体と心に大きな傷を与えた。この災害状況は医学会の多くの会員の気持ちを大きく揺り動かし、積極的に災害地域の救援活動に身を投じ、災害地域の人々に援助の手を差し伸べている。四川省医学会と上海アロカ医用儀器有限公司、アロカ国際貿易（上海）有限公司は協力して四川の被災地域の病院に、40台（セット）のSSC-290ハンドキャリータイプの超音波診断装置を寄贈し、四川の災害地域の39の医療機関に分配し、被災地域の医療機関と人民に対して深い同情を示した。これらの設備が災害後の復旧に積極的な作用を發揮し、人々の健康に大きく貢献することを願っている。

四川省人民政府と四川省衛生庁は四川省地震救済指揮部を代表して寄贈品を受け取り、四川省医学会と日本アロカ株式会社、上海アロカ医用儀器有限公司及びアロカ国際貿易（上海）有限公司の四川地震災害に対する援助に感謝し、これらは現在、被災地区で非常に重要な設備となっていると挨拶を行った。

四川省医学会事務局 2008年6月3日

